



証券コード：9913

# 日邦産業株式会社

証券コード：9913

## 2025年3月期 第2四半期決算説明資料

2024年 11月 5日  
代表取締役社長  
岩佐 恭知

# 25/3期 2Q 連結業績（1）

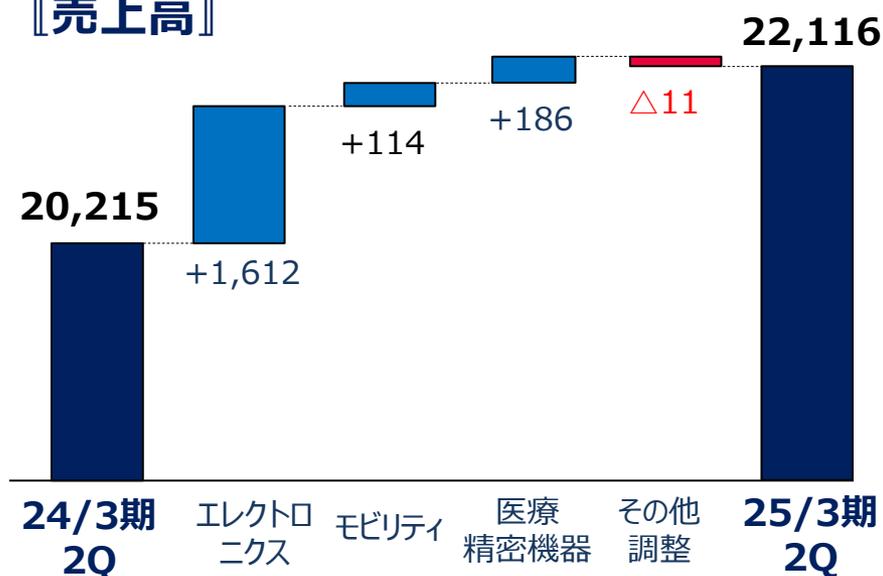


エレクトロニクスと医療・精密機器が好調に推移したものの、モビリティの減益影響により「増収・減益」

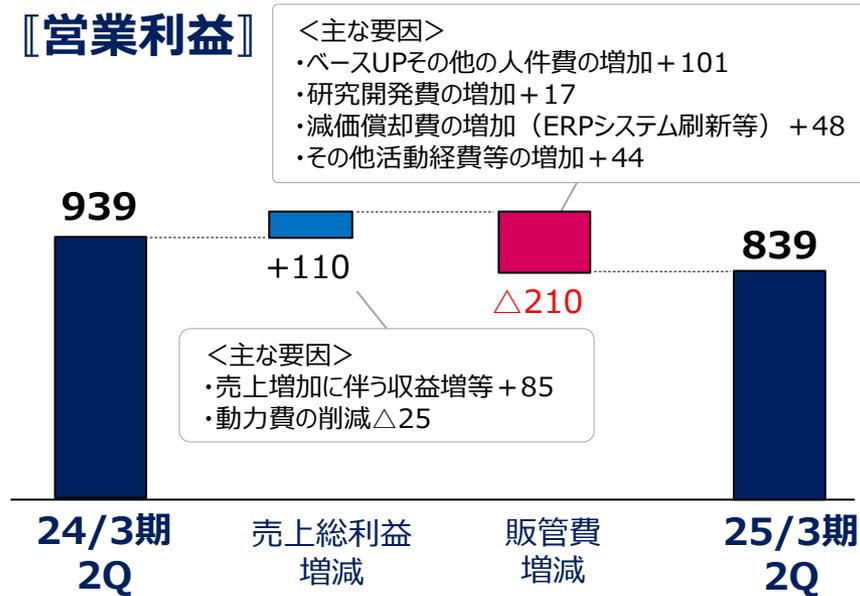
（単位：百万円）

科目	24/3期 2Q	25/3期 2Q	前年同期比	増減額
売上高	20,215	22,116	109%	+1,901
営業利益	939	839	89%	▲ 100
経常利益	1,097	979	89%	▲ 117
四半期純利益	755	672	89%	▲ 83

## 【売上高】



## 【営業利益】

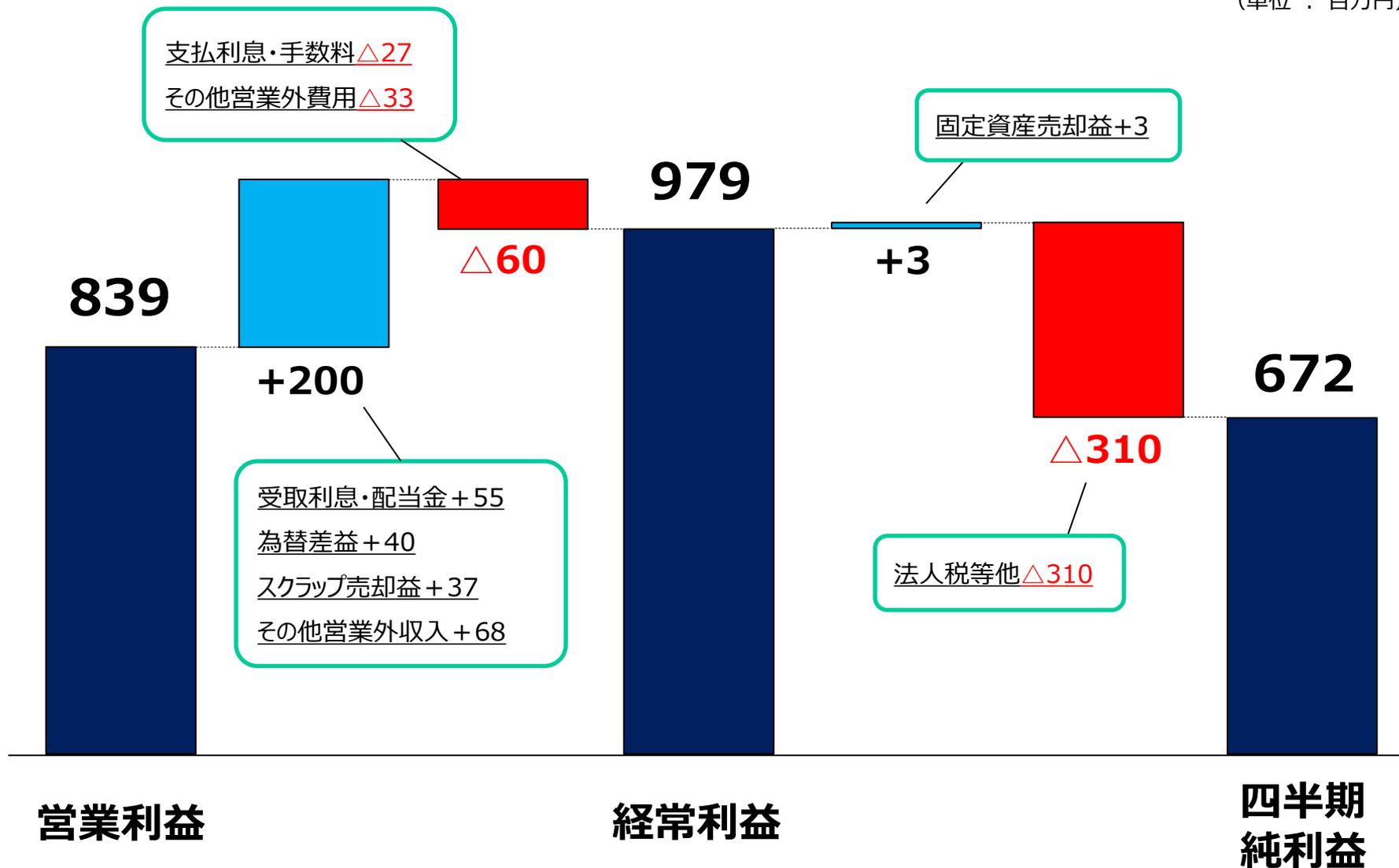


- <主な要因>
- ・ベースUPその他の人件費の増加 + 101
  - ・研究開発費の増加 + 17
  - ・減価償却費の増加（ERPシステム刷新等） + 48
  - ・その他活動経費等の増加 + 44

- <主な要因>
- ・売上増加に伴う収益増等 + 85
  - ・動力費の削減 Δ 25

# 25/3期 2Q 連結業績 (2)

(単位：百万円)



# 25/3期 通期業績予想



**モビリティの受注環境が3Q以降良化すること、エレクトロニクスと医療・精密機器の業績が堅調に推移することを見込み、通期業績予想を据え置きます！**

(単位：百万円)

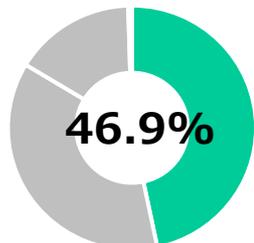
科目	25/3期 2Q	25/3期 通期見通し	2Q 進捗率	通期業績予想と年間配当金について
売上高	22,116	<b>42,000</b>	52.7%	<p><b>1. 通期業績予想</b></p> <p>2Qは、エレクトロニクスと医療・精密機器が好調に推移したものの、モビリティの減益影響が響いたことで、連結業績は増収・減益となりましたが、通期の業績予想としましては、</p> <p>①モビリティの外部環境の変化（自動車メーカーの不正問題による稼働停止と、アセアン及び中国の自動車市場の落ち込み）によるマイナスの影響が、3Q以降に良化していくことを見込んでいること</p> <p>②エレクトロニクスの生成AI関連の部材の受注が、堅調に推移することを見込んでいること</p> <p>③医療・精密機器の原価低減活動によるプラスの効果を引き続き見込んでいること</p> <p>上記の見込みから、2024年5月15日に公表しました通期業績予想を据え置きます。</p> <p><b>2. 年間配当予想</b></p> <p>通期業績予想とともに、年間配当金「1株=76円」も据え置きます。</p> <p>※本通期業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいた予想値であり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。通期業績予想の見通しに修正が必要と判断される場合は、改めて公表させていただきます。</p>
営業利益	839	<b>1,950</b>	43.0%	
経常利益	979	<b>1,950</b>	50.2%	
当期純利益	672	<b>1,380</b>	48.7%	
年間配当金	(24/3期) 1株当たり 74円	<b>1株当たり 76円</b>		

# セグメント別業績（エレクトロニクス）



## 売上高構成比

（単位：百万円）



増収

増益

	24/3期 2Q累計	25/3期 2Q累計	前年同期比	増減額
売上高	8,814	<b>10,426</b>	118%	+1,612
営業利益	605	<b>828</b>	137%	+223

### 2Qの業績概況

- ・ タイ（コラート）工場のドライフィルム 事業の立ち上げに伴う先行費用の影響は継続しているものの、在庫調整の影響を受けてきたスマートフォン関連部材の受注状況が改善した。
- ・ 加えて、国内における生成AI用のサーバー向け配線板材料と、ベトナム工場のドライフィルム及び沖縄工場のウエハ研磨用キャリアの受注が引き続き好調に推移したことにより、増収・増益となった。

## 売上高の進捗



2Q進捗  
54.6%

	24/3期	25/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	18,904	<b>19,100</b>	101%	+196
営業利益	1,272	<b>1,400</b>	110%	+128

### 通期の見通し

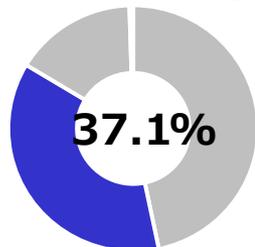
- ・ 3Q以降もドライフィルム事業の先行費用の影響が継続することに加え、スマートフォン需要の回復は力強さに欠けるものの、生成AI用のサーバー向け配線板材料、ベトナム工場のドライフィルム及び沖縄工場のウエハ研磨キャリアの受注が堅調に推移する見込みから、通期業績は増収・増益の見通し。

# セグメント別業績 (モビリティ)



## 売上高構成比

(単位：百万円)



増収

減益

	24/3期 2Q累計	25/3期 2Q累計	前年同期比	増減額
売上高	8,125	8,239	101%	+114
営業利益	768	468	61%	△300

## 2Qの業績概況

- 自動車メーカーの不正問題による稼働停止、中国向けパワートレイン系部品の受注の鈍化が継続していたこと、タイ市場の自動車販売不振の影響を受けた。
- 1Q業績と比較して改善は進んだが、ベトナム工場の新規受注製品（ブレーキ制御関連部品）の立上げ費用（先行費用）等の影響により、前年対比では大幅減益となった。

## 売上高の進捗



	24/3期	25/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	16,578	16,500	100%	△78
営業利益	1,543	1,400	91%	△143

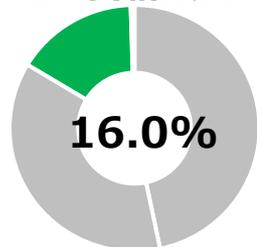
## 通期の見通し

- 顧客の生産計画を踏まえると、受注環境は3Q以降に良化していく見込みであるものの、2Qまでの減益影響をカバーしきれず、通期業績は減収・減益の見通し。
- 引き続き、全自動・半自動ラインのグループ企業への横展開を含む「原価低減」に努めていく。

# セグメント別業績（医療・精密機器）



## 売上高構成比



増収  
増益

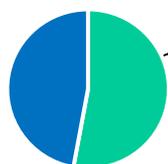
(単位：百万円)

	24/3期 2Q累計	25/3期 2Q累計	前年同期比	増減額
売上高	3,358	<b>3,544</b>	106%	+186
営業利益	79	<b>182</b>	230%	+103

## 2Qの業績概況

- ・ タイ（コラート）工場における医療機器部品の受注が好調に推移。
- ・ プリンター関連部品の受注は減少するも、原価低減活動の効果により、「医療・精密機器」としては、増収・増益となった。

## 売上高の進捗



2Q進捗  
52.9%

	24/3期	25/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	6,617	<b>6,700</b>	101%	+83
営業利益	166	<b>300</b>	181%	+134

## 通期の見通し

- ・ タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注は、引き続き好調に推移する見通し。
- ・ プリンター関連部品の受注の先行きは、引き続き不透明ではあるが、原価低減活動の継続によるプラスの効果により、「医療・精密機器」としては、増収・増益の見通し。

# 【参考資料】 25/3期 2Q 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科目		24/3期	25/3期 2Q	増減額	科目		24/3期	25/3期 2Q	増減額
資産の部	流動資産	17,753	19,063	+1,310	負債の部	流動負債	12,557	13,134	+577
	現預金	5,679	6,185	+506		支払手形及び買掛金等	8,212	8,469	+257
	受取手形及び 売掛金等	7,917	8,319	+402		短期借入金等	1,886	2,159	+273
	棚卸資産	3,274	3,636	+362		リース債務、割賦未払金	300	268	△32
	その他	882	922	+40		その他	2,158	2,236	+78
	固定資産	13,002	13,716	+714		固定負債	3,405	4,008	+603
	有形固定資産	8,376	9,314	+938		長期借入金	593	924	+331
	無形固定資産	512	503	△9		リース債務、長期割賦未払金	435	505	+70
	投資 その他の資産	4,113	3,899	△214		その他	2,376	2,578	+202
	資産合計	30,755	32,780	+2,025		負債合計	15,963	17,143	+1,180
				純資産の部	資本金	3,137	3,137	-	
					資本剰余金、利益剰余金 及び自己株式	8,662	8,682	+20	
					その他の包括利益累計額	2,991	3,815	+824	
					非支配株主持分	1	1	+0	
					純資産合計	14,792	15,637	+845	
				負債・純資産合計	30,755	32,780	+2,025		

日邦産業株式会社

IR担当： 経営企画部 水口、藤浪、小清水

電話番号 : 052-218-3161

ホームページ (URL) : <https://www.nip.co.jp/>

## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありませんので、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になる恐れがあることをご認識された上でご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

なお、本業績見通しにおいては、1米ドル = 150円、1タイバーツ = 4.0円の為替換算レートで計算しております。